



TELESCRIPT  
International



## ※ソフトウェアを立ち上げる前に必ずUSB dongleを差してください

### 【 TeleScript AV 原稿作成上の注意とセットアップの手順 】

- ① 先ず最初にデスクトップ上に、**専用フォルダ**を作る（例：2017.6.6-〇〇スピーチ、等）  
（TeleScript AV 用 Runlist ファイルは、元原稿に**ヒモ付け**される為、同じフォルダ内に収納のこと）
- ② 次に原稿（Word）を、**リッチ・テキスト**か **Unicode テキスト**に変換して**専用フォルダに保存**  
（テレプロンプター・ソフト上での、文字化けやエラーを避ける為には、Unicode テキストが望ましい）  
（オリジナル原稿で、Word のオプション機能や表組などを施したファイルは、読み込み出来ない）  
（.rtf や .txt に変換した**ファイル名**の頭などに、日付、プロンプタ原稿～等を付けて、元原稿との混同を回避）
- ③ デスクトップ画面にある、TeleScript AV のアイコンをダブルクリックして起動
- ④ TeleScript AV 起動中に、Runlist ダイアログ画面が表示されるが、（ここでは）**閉じる**
- ⑤ 起動後、TeleScript AV 画面・上部のメニューバーの“File” から **“Open”** をクリックして
- ⑥ 専用フォルダに入れて置いた、**リッチ・テキスト**か **Unicode テキスト**の原稿を選択して開く
- ⑦ 上部のメニューバー“Format” から **“Inverse”** をクリックして、画面を黒背景の白文字表示にする
- ⑧ TeleScript AV に読み込んだ原稿を、上部にあるエディット用メニューバーで**編集**  
（変更部分を選択し、フォント／サイズ／色／太字／下線／行間設定／Book Mark セット、など）  
※ 推奨フォントサイズ：48、 推奨フォント：ゴシック系 ※ MS ゴシック以外では改行ズレが生じる可能性があります
- ⑨ 終了後、メニューバーより **Save as...** を選び、名前を付けて専用フォルダに保存  
（上記の保存作業の際、2度ほど確認用のダイアログが現れるが、両方とも「はい」を選択する）  
（次回以降の**上書き保存**は、Save : **Ctrl + S** で OK）  
（幾つもファイルを読み込んでいる場合は、修正の後、そのファイル毎に、Ctrl + S で Save する）
- ⑩ 以上で準備完了、キーボードの **F5 キー**でプロンプター・モードに移行・操作開始  
（再び編集モードに移行したい時は、キーボードの **F3 キー**を押して切替える）
- ⑪ 終了するには、メニューバーの File から **Exit** を選ぶか、ウィンドウを直接閉じる  
（その動作中に表示されるダイアログ画面「Save Runlist before closing?」については、再生リストとして複数文章を登録しており保存する際は、「はい」を選択する  
※原稿を別の PC で動作させるには、フォルダごと別 PC へ移動させ、**再度③～⑧を実施**する！

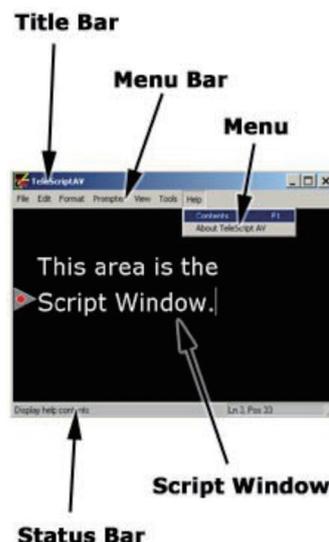
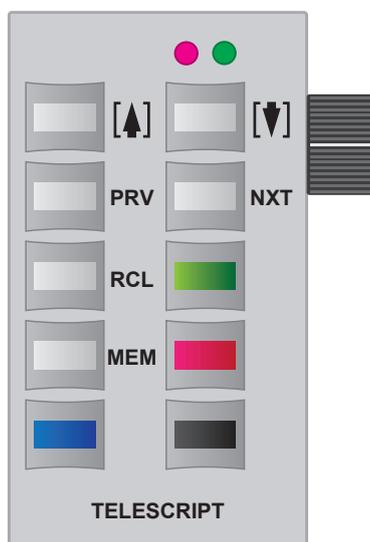
### 【 編集・保存済み TeleScript AV の Runlist ファイルの再起動 】

- ① TeleScriptAV を起動し、上部のメニューバーの“File” から **“Load Runlist”** をクリック  
名前を付けて専用フォルダ内に保存した Runlist ファイル (.trl) を選択して開く
- ② その Runlist ファイル内に複数のスクリプトが保存されている場合は、全て再現される
- ③ 改めて編集やその後の保存を行う場合は、上記⑦～⑩と同様の作業を行う

## 【コントローラー操作】

Telescript の 10 ボタンシリアルハンドコントローラーは、プロンプター（起動、停止、スクロール速度）をすばやく制御し、スクリプト、ブックマーク、メモリマーカ、色の反転をすばやくナビゲートします。

ボタン	説明
 <b>KNOB</b>	スクロール速度を制御します。ノブを時計回りに回すと、順方向のスクロール速度が上がります。ノブを反時計回りに回すと、後方にスクロールします。ノブを中央の「ゼロ点」からさらに回すほど、その方向の速度が増加します。
<b>[ ↑ ]</b>	プロンプターの一番上の行を前のブックマークに移動します。
<b>[ ↓ ]</b>	プロンプターの一番上の行を次のブックマークに移動します。
<b>PRV</b>	Runlist の前のスクリプトをスクリプトウィンドウにロードします。
<b>NXT</b>	Runlist の次のスクリプトをスクリプトウィンドウに読み込みます。
<b>RCL</b>	プロンプターを最後のメモリマーカセットに呼び出します。メモリマーカが設定されていない場合はスクリプトの TOP に呼び出します。
<b>GREEN</b>	プロンプターのスクロールを開始します。速度と方向は、前述のようにノブの位置によって異なります。「▶」はプロンプターのステータスを示します。黄色「▶」は「一時停止」で、緑色「▶」は「スクロール」します。
<b>MEM</b>	ウィンドウ上部の行に MEMORY マーカーをドロップします。
<b>RED</b>	スクロールを停止します。「▶」は赤くなり、停止していることを示します。
<b>BLUE</b>	ウィンドウ上部の行の先頭にブックマークを挿入します。
<b>BLACK</b>	現在の Window 色を白黒反転します。





## Telescript AV Keyboard Commands

### File

New	Ctrl+N
Open...	Ctrl+O
Save	Ctrl+S
Print	Ctrl+P
Exit	Alt+F4

### Edit

Undo	Ctrl+Z
Redo	Ctrl+Y
Cut	Ctrl+X
Copy	Ctrl+C
Paste	Ctrl+V
Delete	Del
Select All	Ctrl+A
Find	Ctrl+F
Replace	Ctrl+R

### Format

Font > Grow font	Sh+Ctrl+
Font > Shrink font	Sh+Ctrl-
Bold	Ctrl+B
Italic	Ctrl+I
Underline	Ctrl+U
Normal	Ctrl+Sh+SPACE
Attributes > Strikeout	Ctrl+Sh+K
Alignment > Left	Ctrl+Sh+L
Alignment > Center	Ctrl+Sh+C
Alignment > Right	Ctrl+Sh+R
Line Spacing > 1	Ctrl+1
Line Spacing > 1.5	Ctrl+5
Line Spacing > 2	Ctrl+2
Inverse	Ctrl+Sh+V

### **Prompter**

Prompter	F5
Editor	F3
Go	F6
Stop	F7
Prev	Alt+F8
Next	Alt+F9
MEM > Push	F8
MEM > Clear	Ctrl+F8
RCL > Go to	F9
RCL > Pop	Ctrl+F9
Bookmark > Set Bookmark	F10
Bookmark > Next Bookmark	F11
Bookmark > Prev Bookmark	Ctrl+F11
Bookmark > Go To Bookmark	Ctrl+F10
Bookmark > Show/Hide Bookmarks	Alt+F10
Bookmark > Clear All	Ctrl+Alt+F10
Top	Ctrl+Home

### **Mouse Scroll**

Ctrl+F6

### **View**

Zoom > In	Ctrl+Alt+Right
Zoom > Out	Ctrl+Alt+Left
Zoom > Normal	Ctrl+Alt+Space
Bars	F3
Runlist	F2

### **Tools**

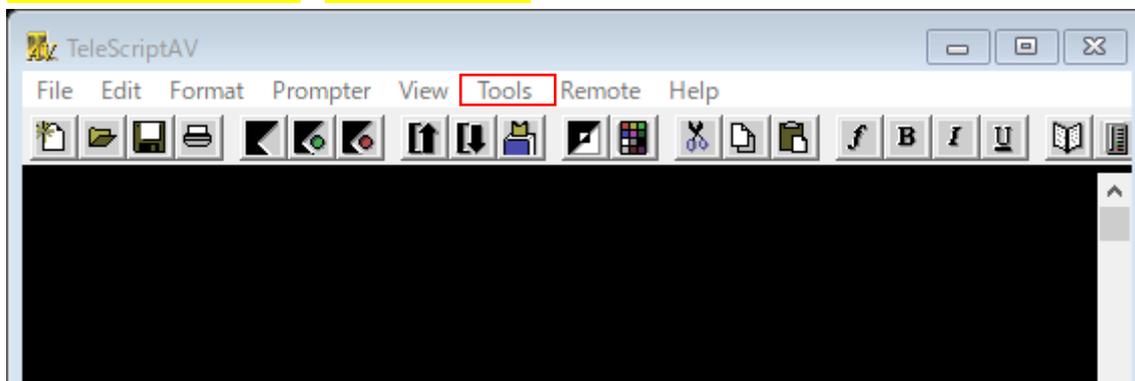
Spell Check	Sh+Alt+K
-------------	----------

### **Help**

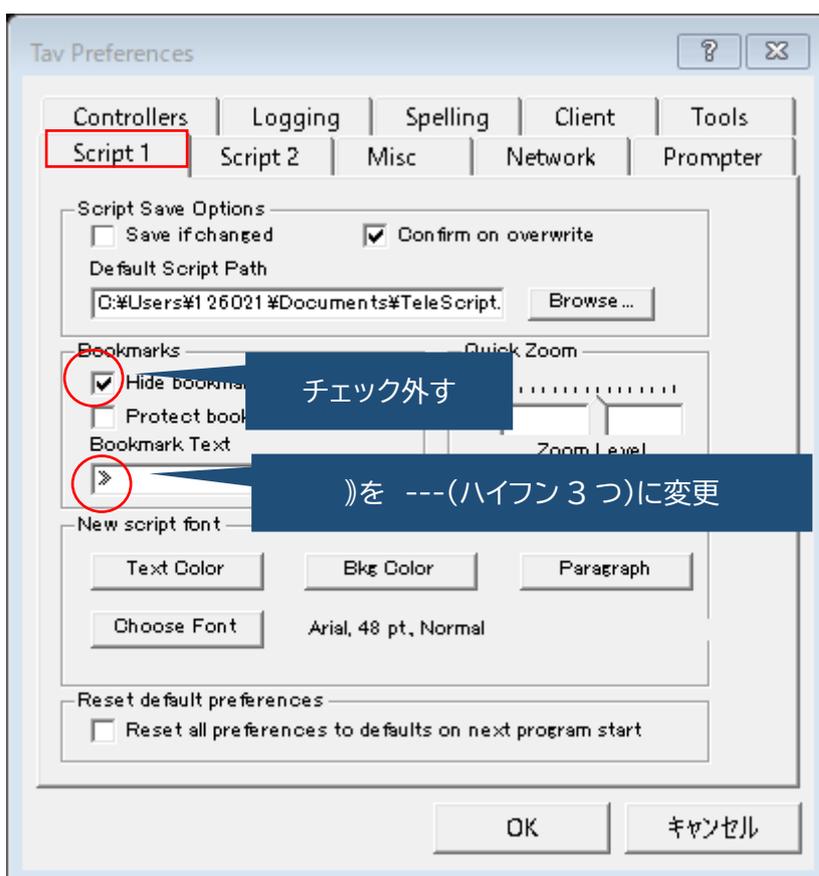
Contents	F1
----------	----

## Telescript AV 初期設定(ユーザー切り替え時)

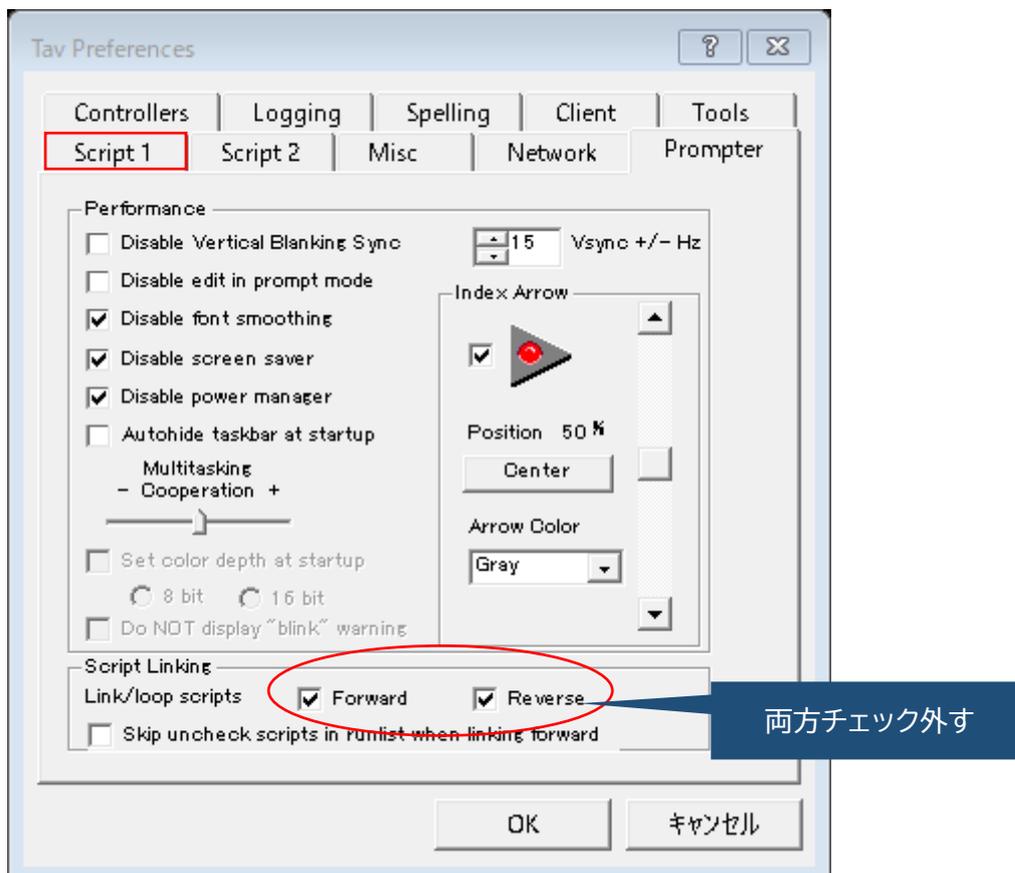
**Tools(画面上部タブ) > Preferences** から下記の4点、各種設定をお願いします



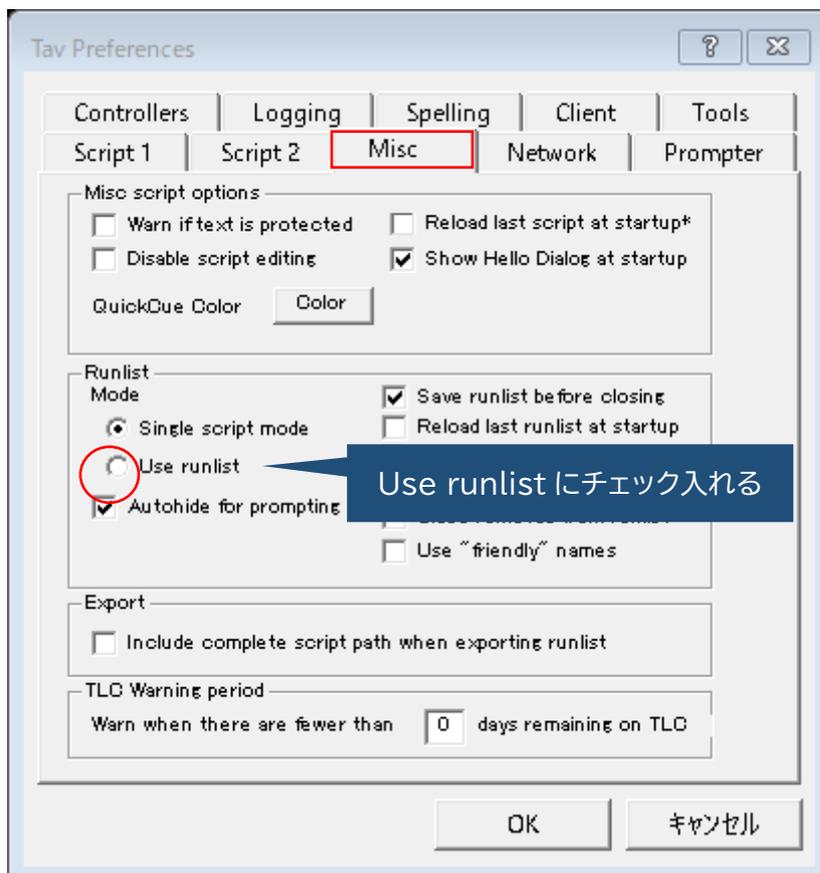
### 1. ブックマークの設定



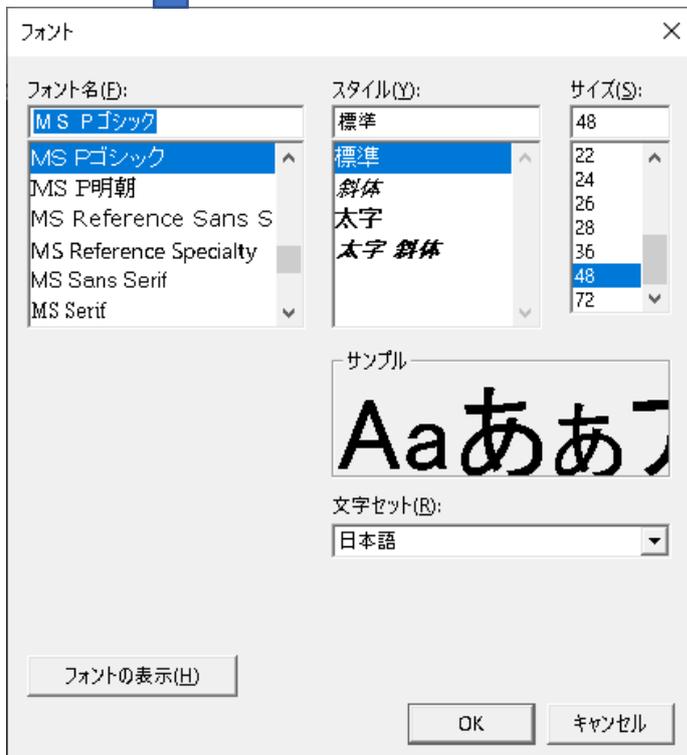
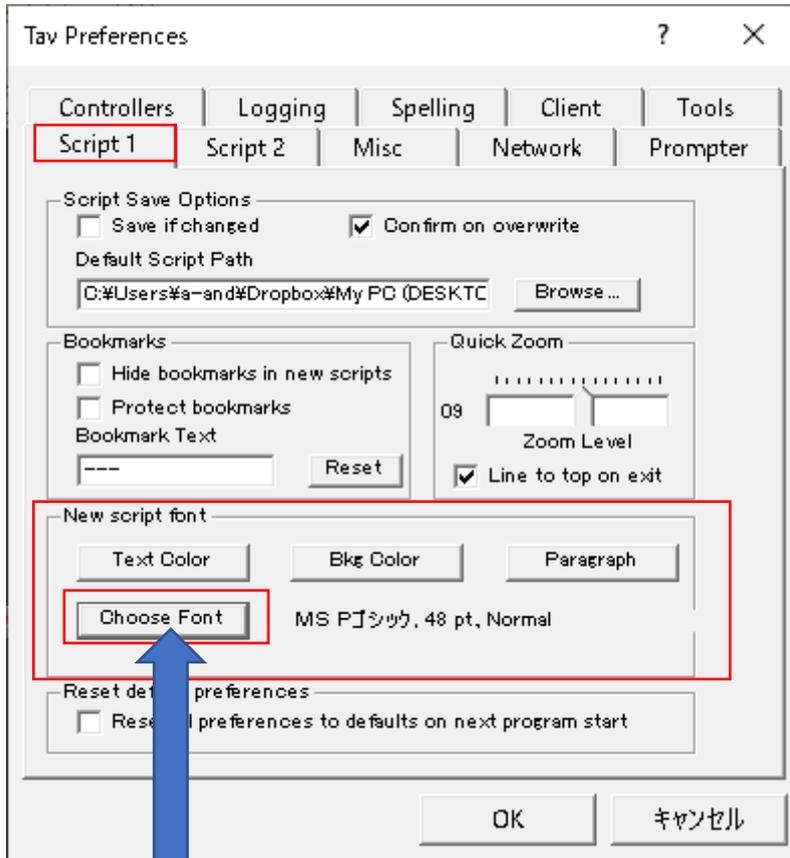
## 2. スクリプトのループを外す



### 3. Runlist モードへ切り替え(複数のリッチテキストファイルを開けるようにする)



#### 4. フォントのデフォルト設定をする



MS Pゴシック  
標準  
48  
に設定